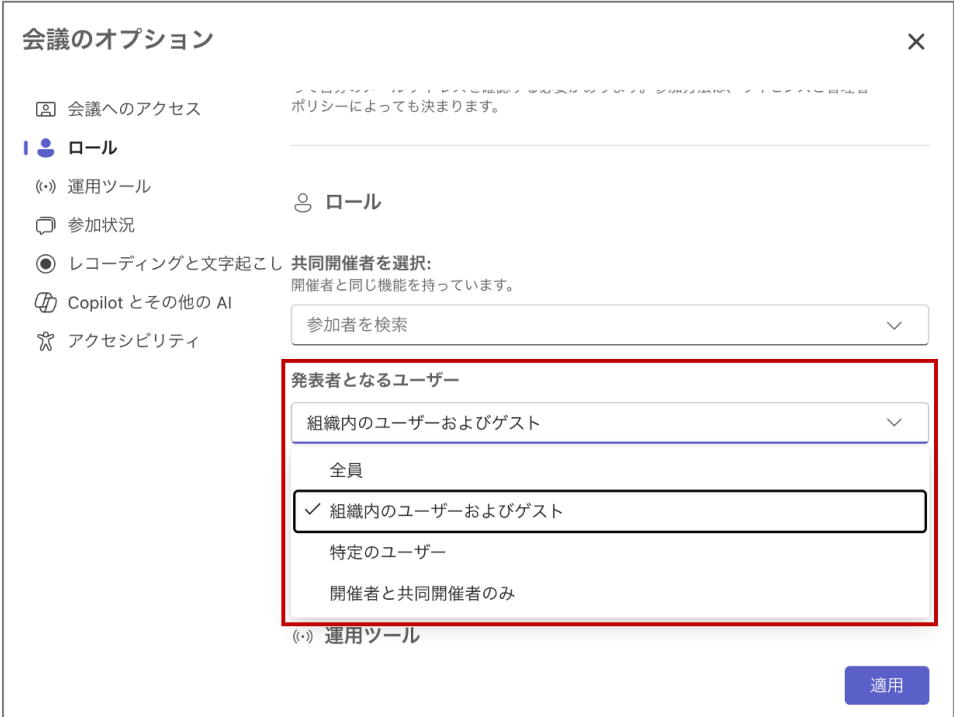


Microsoft Teamsで参加名を非表示にする方法

本機能を有効にすると、主催者および共同主催者には参加者の氏名が表示されますが、参加者同士では互いの氏名は表示されません。
なお、チームのチャンネルで設定した会議では本機能を利用できません。
また、「ユーザーに表示名の編集を許可する」機能とは併用できません。

会議前に設定する方法.....	1
会議中に設定する方法.....	2

会議前に設定する方法

1	Microsoft Teamsの「カレンダー」より「新規」をクリックし、ミーティングを作成します。 
2	オンライン会議を有効化し、「オプション」をクリックします。 
3	「発表者となるユーザー」を、「全員」以外の選択肢に変更してください。 ※「全員」が選択されている場合、本機能は有効化できません。 

4	「出席者の名前を非表示にする」を有効化し「適応」します。 会議のオプション 会議へのアクセス ロール 運用ツール 参加状況 レコーディングと文字起こし Copilot とその他の AI アクセシビリティ アオを共有することを個別に許可できます。 会議チャット オン Q&A 開催者は、Q&A をカスタマイズして、匿名の投稿を許可したり、公開前に質問をレビューしたりできます。 会議中のリアクションを許可しますか? ユーザーに表示名の編集を許可する 出席者の名前を非表示にする 主催者、発表者、アプリは出席者の名前にアクセスできます。この設定を使用するには、会議が始まる前に発表者を指定し、その後設定をオンにしてください。 出席レポートを許可する 注釈を開始できるユーザー 全員 適用
---	--

会議中に設定する方法

1	Microsoft Teamsを開始します。
2	「コントロール」より「他のオプションを表示」を選択します。 チャット 参加者 手を挙げる リアクショ... 表示 コントロール アプリ その他 カメラ マイク 共有 退出 会議のロック ロビーを有効にする ✓ すべての参加者に次のことを許可する: プレゼンテーション チャット ✓ 自分のミュートを解除 ✓ カメラをオンにする ✓ 他のオプションを表示

3

「発表者となるユーザー」を、「全員」以外の選択肢に変更してください。
※「全員」が選択されている場合、本機能は有効化できません。

会議のオプション

会議へのアクセス

会議のルール

運用ツール

参加状況

レコーディングと文字起こし

Copilot とその他の AI

アクセシビリティ

共同開催者を選択:
開催者と同じ機能を持っています。

参加者を検索

発表者となるユーザー

組織内のユーザーおよびゲスト

全員

✓ 組織内のユーザーおよびゲスト

特定のユーザー

開催者と共同開催者のみ

運用ツール

適用

4

「出席者の名前を非表示にする」を有効化し「適応」します。

会議のオプション

会議へのアクセス

会議のルール

運用ツール

参加状況

レコーディングと文字起こし

Copilot とその他の AI

アクセシビリティ

会議チャット

オン

Q&A

開催者は、Q&A をカスタマイズして、匿名の投稿を許可したり、公開前に質問をレビューしたりできます。

会議中のリアクションを許可しますか?

ユーザーに表示名の編集を許可する

出席者の名前を非表示にする

主催者、発表者、アプリは出席者の名前にアクセスできます。この設定を使用するには、会議が始まる前に発表者を指定し、その後設定をオンにしてください。

出席レポートを許可する

注釈を開始できるユーザー

全員

適用

以上